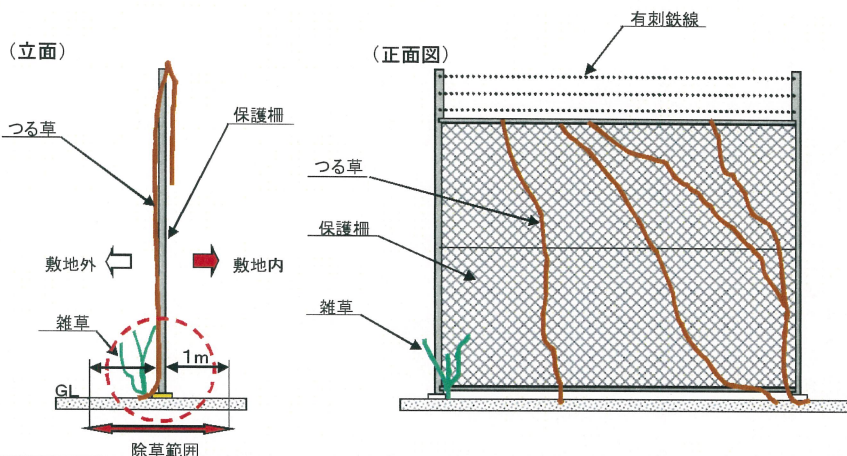


つる巻き防止リサイクルシート施工手順説明書

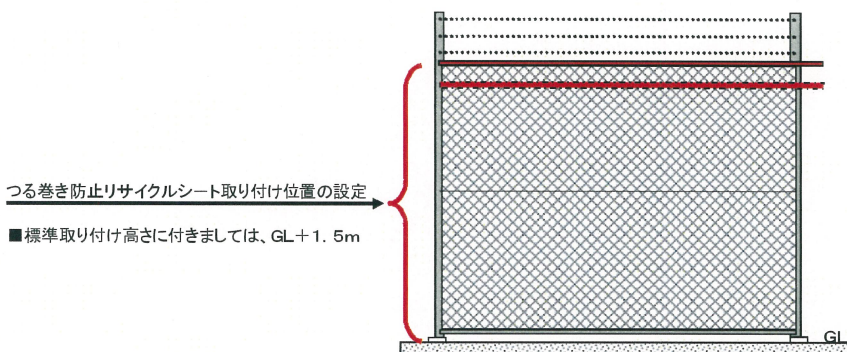
(施工手順 1) つる草・フェンス周辺の除草



(施工補足説明)

- ① 保護柵に絡み付いている、つる草を撤去して下さい。
- ② 保護柵周辺の雑草については、出来る限り、保護柵前後、約 1m 範囲の除草作業を行って下さい。

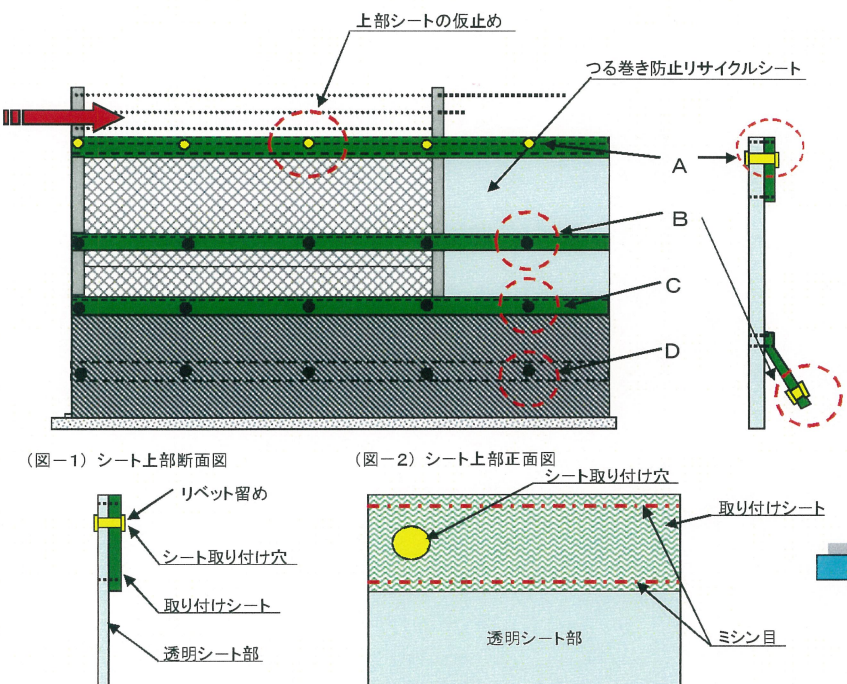
(施工手順 2) シート取り付け位置の決定



(施工補足説明)

- ① つる巻き防止リサイクルシート(上部) 取り付け位置を決めます。尚、上部取り付け位置に付きましては、保護柵ネット水平部材に固定するのが、最適かと思えます。

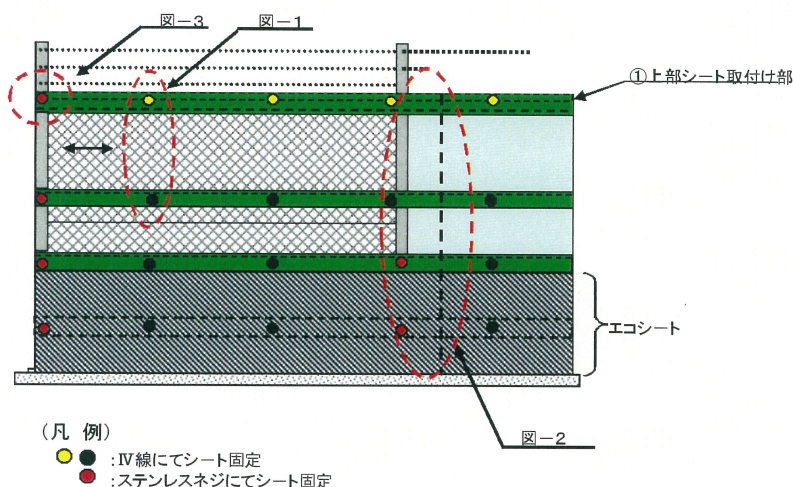
(施工手順 3) シート上部仮止め作業



(施工補足説明)

- ① つる巻き防止リサイクルシート取り付け位置が決まりましたらシートを延ばしながら、シート取り付け部(A)の仮止めを行なって下さい。尚、仮止めの際、シートのしわ、弛みを取りながら、仮止めを行なって下さい。取り付けシート①については、透明シート部と貫通しておりますが、(B、C、D)の取り付けシートに付きましては、透明シートに貫通しておりませんので、透明シートに損傷させない様にバインド線を取り付けて下さい。
- ② 取り付け範囲のシート引きのばしが完了しましたら、再度、シートのしわ、弛みを取りながら、IV線(銅被覆バインド線)にて、シートの固定を行って下さい。(図-3)を参考して下さい。

(施工手順 4) 中間・下部シート固定作業

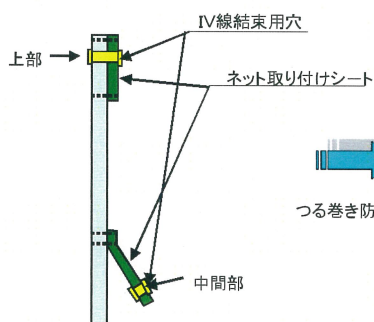


(図-1) ネット取付施工説明図

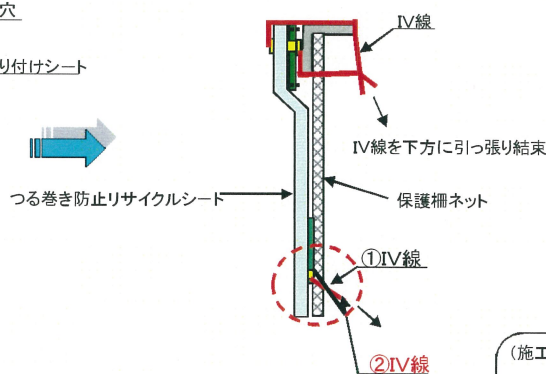
(施工補足説明)

- ①上部シート固定後、中間・下部固定を(図-1-2)の通りに、IV線により、保護柵のネットに結束して下さい。
尚、IV線結束においては、取付け部のシートを下方に引っ張りながら、IV線を保護柵ネットの交差箇所にて結束させて下さい。
- ②シート重ね合わせ場合は、(図-2)のと通りに、ラップ幅については、20~50cmを確保して下さい。
尚、シートをラップさせる場合、前後シート取り付け穴が重なる様に、シートを重ね合わせて下さい。
- ③下部シート部分(エコシート)の接着に付きましては、(図-2-1)の通りに、エコシート専用接着剤にて、シートを接着して下さい。
尚、敷地境界の条件により、(図-4)の通り、シートを調整して下さい。
- ④シート重ね合わせ部分については、アルポリック板にて、シートを固定します。
- ⑤IV線にて、シート固定後、(図-3)の通り、ステンレスネジにて、保護柵の支柱にシートを固定します。
尚、シート固定ネジ取付け間隔に付きましては、端部の保護柵支柱については4本止めとし、柱2スパン毎に、標準2本止めとします。

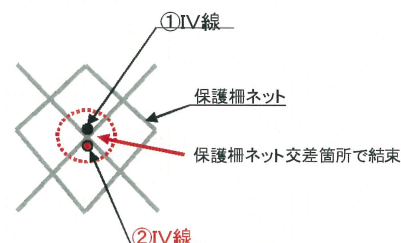
(施工前)



(施工後)



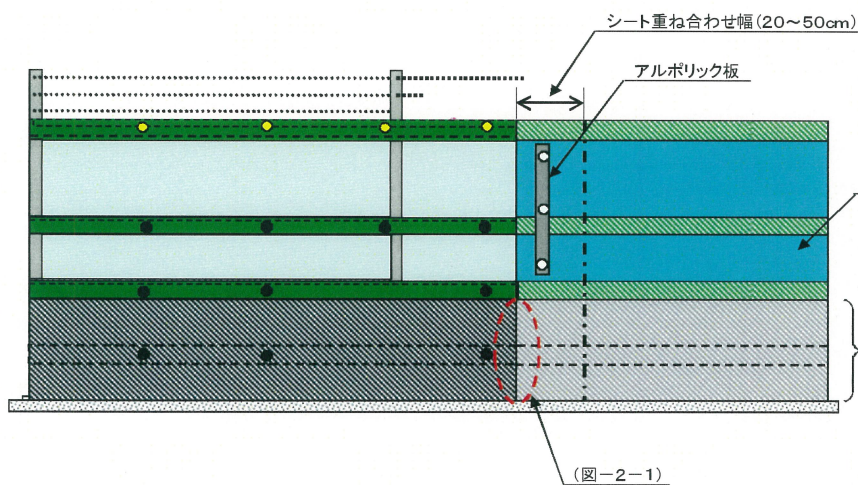
(図-1-2) ネット部拡大図



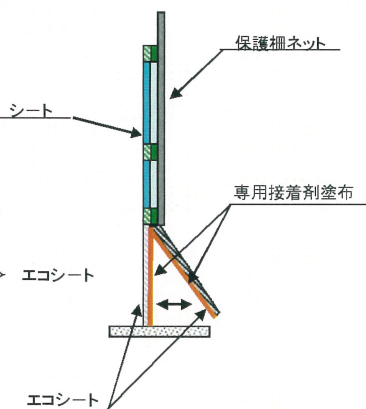
(施工ポイント)

- IV線結束時、IV線を下方に引っ張りながら、結束して下さい。
- IV線結束位置として、保護柵ネット交差箇所、IV線を結束させて下さい。

(図-2) シート重ね合わせ部説明図

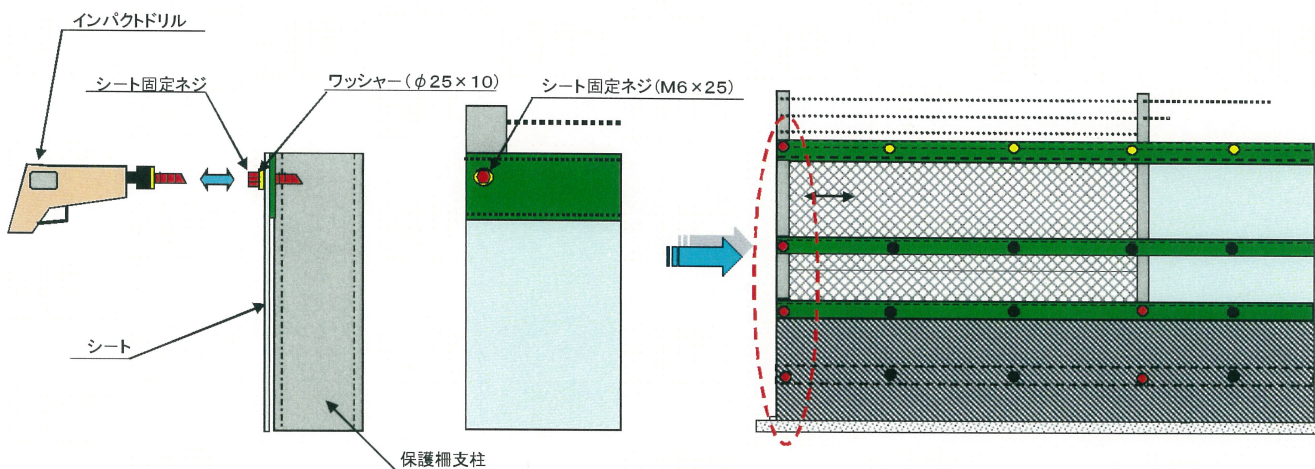


(図-2-1) 下部エコシート部分の接着説明図



（施工手順 5）保護柵支柱部分固定作業

（図-3）



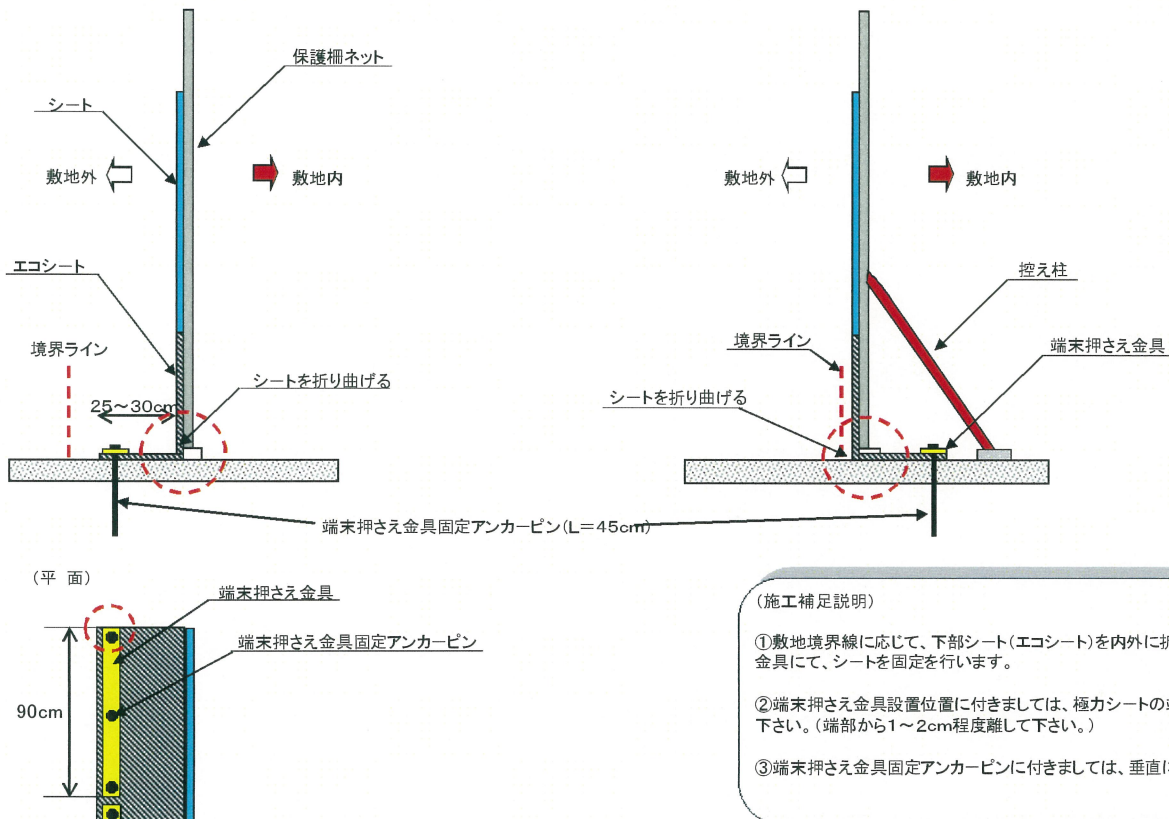
（施工ポイント）

■ インパクトドライバーを使用して、つる巻きシートを保護柵の柱に固定させる場合は、取り付け位置がズレ無い様に、シートを引っ張りなが固定し、シートにドリルを押し当て、圧力を掛けながら、ドリルの回転をON・OFFさせながら、削穴する様に、固定ネジを打ち込んで下さい。

（施工手順 6）エコシート部分の処理作業

（図-4）隣接地との境界に余裕が有る場合のエコシート敷設説明図

（図-4-1）隣接地との境界に余裕が無い場合のエコシート敷設説明



（施工補足説明）

- ①敷地境界線に応じて、下部シート（エコシート）を内外に折り曲げて、端末押さえ金具にて、シートを固定を行います。
- ②端末押さえ金具設置位置に付きましては、極力シートの端部にて、固定を行って下さい。（端部から1~2cm程度離して下さい。）
- ③端末押さえ金具固定アンカーピンに付きましては、垂直に打ち込んで下さい。